

特定非営利活動法人バル・ピパル奨学基金

事業報告 第9号 (2011年度)

★ パル・ピパル学校 第2回目の全国統一試験 (SLC) 結果

2012年の春にバル・ピパル学校の生徒37名が、全国統一試験 (School Leaving Certificate (SLC) / 高校卒業資格)を受験しました。試験結果は、5名が1stレベル(得点60%以上)、24名が2ndレベル(得点45%以上)で、計29名が合格しました。今回の合格率は78.6%で、全国平均合格率47.2% (受験者数445,974名)よりも高い結果です。前回の合格率(84.6%)より低い理由は、全国平均が約10%下がったためと思われます。

この様に、昨年に続いて全国的にバル・ピパル学校のレベルが高いことが実証されました。一部の科目で不合格者になった生徒7名は、その科目で1度だけ再受験の機会があるため、今後、彼らも合格すれば村の合格率は97.3%になります。残念ながら、1名の生徒は再受験の条件が得られない点数だったため不合格になりましたが、この生徒も次回に全科目を再受験する機会があります。

今回もSLC受験に向けて、生徒も教師も非常に良く頑張りました。来年も良い結果を出すために勉学に力を入れて欲しいと思います。皆様のご支援により優秀な生徒が育ち、本人達も喜んでます。ありがとうございました。

(1) 学用品支援事業・・・就学生へ文具品の寄与

今年度は、年間に必要な文具品を就学生287名全員に寄与しました(表1)。

表1 文具品を寄与したバル・ピパル学校就学生

学年	幼稚園生	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
生徒数	13	10	13	16	25	31	35	28	29	49	38	287

<就学生1人に寄与する文具>

鉛筆、消しゴム、ノート各種、ボールペン及び換芯、万年筆及びインク

<対象者の条件>

- A. サッレ村在住の就学生、またはサッレ村内の学校に通学している他の村の就学生であること。
- B. 進級試験の合格者の場合、学校の出席率が月80%以上(塾は月90%以上)、不合格者の場合は、出席率が月90%以上(塾は月100%)であること。
- C. 毎年、各学年の開始時に奨学品希望の申請書を提出すること。

(2) 奨学資金支援事業・・・奨学生の決定及び文具品寄与

今年度は、7つの学校から優秀な奨学生247名が集まり、奨学金が寄与されました(表2)。

例年のようにサッレ村のバル・ピパル奨学財団が各学校に招待状を送り、奨学品の授与式が行われました。村々から奨学生達、代表教師1人と父母がサッレ村に集まり、今回も文具品が各自に寄与された後、踊りなどで祭りのように祝いました。



朝礼する生徒達



万歳する生徒達



奨学授与式で挨拶する教師



奨学授与式で挨拶する奨学財団代表者

＜対象者の条件＞

- A. サッレ村とその近隣の村に通う就学生であること。
- B. 毎年4月に行われる進級試験の成績順上位4名であること（バル・ピパル学校は上位10名が対象）（表3）。
- C. 毎年1月と9月に行われる中間試験の成績順上位10名であること（バル・ピパル学校のみ対象）（表4）。

表2 優秀な奨学生

村名	学校名	学年	人数
サッレ	バル・ピパル学校	幼稚園～10	110
サッレ	バル・ピパル学校	SLC	12
トドケ	バゲソーリ学校	1～3	12
ダダ	パンチャ・カンニヤ学校	1～5	20
ラマスタン	ラマスタン学校	1～10	40
ヴォルレ	マナルピ学校	1～10	40
ボシ	シャンカ・デヴィ学校	1～10	1
パンカルカ	カリカ学校	1～3	12
合計			247

- D. SLCで1stレベル(得点60%以上)と秀レベル(得点80%以上)で合格すること（バル・ピパル学校とサッレ村が対象）（表5）。
- E. 年末試験の奨学品受領後1ヶ月以内に、好きな小論文を提出すること。

*** 高等教育奨学金支援**

今年度から高校卒業後の学生に対する奨学金支援を開始しました。一人目の奨学生は2011年度のSLCで1stレベルで合格した学生、Khadaka君で、サッレ村の低カースト（鍛冶屋）の家庭の息子です。昨年の夏からカトマンズの医学関係の3年制の専門校 Nepal Institute of Medical Science and Technology で学んでおり、学費と生活費の一部として、年間10万円を支援しています。



Khadaka B.K.

表3 奨学文具設定金額（条件B用）

学年	1位	2位	3位	4位	合計
1	100	80	60	50	290
2	200	160	120	100	580
3	300	240	180	150	870
4	400	320	240	200	1,160
5	500	400	300	250	1,450
6	600	480	360	300	1,740
7	700	560	420	350	2,030
8	800	640	480	400	2,320
9	900	720	540	450	2,610
10	1,000	800	600	500	2,900
1Rs = 約1円 年間					15,950

表4 奨学文具設定金額（条件C用）

学年	1位	2位	3位	4位	合計
1～10	25	20	15	10	70
1Rs = 約1円 年間					840

表5 奨学設定金額（条件D用）

1stレベル(First Division:得点60%以上)	10,000
秀レベル(Distinction:得点80%以上)	20,000
1Rs = 約1円	

(3) 識字率向上支援事業・・・脱穀機導入の成果

村人達のためにサッレ村に脱穀機を導入した目的は、夜間クラスで学ぶ成人の出席率向上でした。現在では成人達の殆どが読み書きを覚えたため、夜間クラスは開講していません。脱穀機の利用で母親達の家事労働負担が軽減されたことにより、家事を手伝う児童達の勉強時間も増え、彼らの学校への出席率向上などに役立っています。

(4) 図書館設立支援事業・・・第9期 設立準備金の積立継続

今年度で、サッレ村に図書館を設立するための準備金の積立金が90万円になりました。日本国内で毎年10万円を10年間積立て、合計100万円を目指します。この準備金には図書館の建物の建設費、机やイスなどの設備費、書籍費が含まれます。

(5) 学校運営支援事業

*** 「サロン・ド・アサミ (Salon de Asami)」による教育ご支援**

「サロン・ド・アサミ」は、音楽や講演など様々な文化活動を行う交流の場です。「サロン・ド・アサミ」代表者の石井氏が募金箱を設置し、サロンをご利用される方々に寄付を募って下さっております。この募金で初等部（1～5学年）の女性教師 Kanchhi Maya Gurung の給与支援を行っています。教師の給与額は物価

上昇に伴い、ネパール政府により昨年も 23%の昇給が規定されています。村で雇用の教師もそれに合わせて昇給せざるおえず、当初の予定よりも大きな出費となっています。

現在のところサロンの皆様のお陰でこの様に教師を雇用することができ、大変感謝しております。

* 音楽教育支援

フルート奏者・故石井朝美氏のご遺族によるご支援で、バル・ピパル学校の生徒達が音楽に親しめるような活動ができるように、2009年2月より10年間に亘って定期的にご寄付をいただいています。

この寄付金で Raj Kumar Prayal という低カースト（仕立屋・演奏楽団）出身の男性を教師として雇用しました。近況では彼は音楽関係や英語の授業の他、ダンス大会や祭り・式典などで生徒達のネパールの伝統的な踊りを指導しています。

(6) 広報活動 ①…「フィリピンの友を援ける会」による教育ご支援

このNPOが設立する以前から、「フィリピンの友を援ける会」の皆様には、バル・ピパル学校の土地の購入と建設、教師の給与、生徒の給食・制服・鞆の供給、塾の運営、脱穀機の施設などの費用のご支援を頂いてきました。学年数が増えるごとに、それに伴う費用も増え、今日までのご寄付は合計700万円以上にもなりました。

この度、残り1年で会からのご援助が終了致します。このご支援により、バル・ピパル学校の運営が始まり、11年間無事に持続させ、さらに多くの生徒に学びの機会を与えることができました。会の皆様の長いご支援に、本当に感謝しております。

(6) 広報活動 ②…「NPO ブッダ基金」による教育ご支援

ブッダ基金の事業内容の一つ「ネパール山村地域に住む人々への識字教育援助」として、5年間の契約でサッレ村のバル・ピパル学校6～10学年(中高等部)の校舎建設と教育支援をして頂きました。既に10学年までの校舎が増設され、昨年は5名の教師が雇用されました。10学年の増設によって、サッレ村や高校が無い近隣の村の生徒達は遠くのボシ村シャンカ・デヴィ学校へまで長時間歩かなくてもよいので、毎日の通学が非常に楽になりました。

今年度この5年間の契約は終了致しましたが、今後5年間に教師、給食、医療などの支援を継続すると同時にSLC試験で優等な成績で合格した生徒に対して高等教育を行うために奨学支援を行って頂くことになりました。2011年12月にブッダ基金の方々がカトマンズを訪れ、サッレ村の代表者と話し合い、2011年度にSLCに1stレベルで合格した3名の生徒を選びました。Ramesh君とDeepak君はカトマンズで物理を勉強しており、それぞれ教員と医者を目指しています。Andilaさんは教師になるためDhading郡で商業を勉強しています。

この度もブッダ基金の皆様には継続してご支援を頂き、誠にありがとうございます。ブッダ基金の詳細な活動につきましては、ホームページでご覧になれます。<http://www.buddha-f.com/>



Buddha基金の皆様と村人



Ramesh Gurung



Deepak Shrestha



Andila Shrestha

(6) 広報活動 ③…建物の建設費

2011年4月、石井氏のご寄付でカトマンズ郊外の Dharmasthali 地区に約 100 m²の土地を現地のバル・ピパル奨学財団の名義で購入致しました。今後は1年以内に建物を建て、一部を賃貸住居として人に貸す予

定で、建設費用も石井氏にご寄付頂きました。

賃貸収益によって、現地の村人が寄付に頼らず自立してバル・ピパル学校の管理・運営を行えるようにすることが目的です。この様な機会を頂き、石井氏には誠に感謝しております。

2011年12月には、石井氏が友人の方々とカトマンズを訪れた際に、土地の確認をして頂きました。また、約25名の村人達が購入した土地で踊りと演奏を披露しました。その他に、石井氏と「サロン・ド・アサミ」がご支援する2人の教師、Raj Kumar Prayal と Kanchhi Maya Gurung に面会する機会も設けることができました。



購入した土地で子供達の歓迎の踊り



購入した土地で記念写真

(7) 寄付金収入及び正会員数

お陰様で下記の事業収支計算書の通り、今年度は122万円以上の会費・ご寄付が集まりました。2011年度の正会員は18名です。定期的に毎年ご寄付して下さいの方々、新たに初めてご寄付して下さいの方々、皆様に感謝しております。

～ご支援のお願い～

バル・ピパル学校では幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教育を行っており、支援生徒数が287名になりました(表1参照)。SLCの合格率が高かったことで、周辺の村々の親達も子供の教育の必要性を理解し、今後の教育についても期待が膨らんでいます。皆様のご支援には、誠に感謝しております。また、これからも支援事業を続けていくために、どうぞ引き続き皆様のご寄付とご協力を宜しくお願い致します。

<お振込先>

郵便振替口座：00930-4-265848

口座名称：特定非営利法人 バル・ピパル奨学基金

<ご連絡先>

特定非営利活動法人バル・ピパル奨学基金

ホームページ・アドレス：<http://barpepal.com>

2012年8月 特定非営利活動法人バル・ピパル奨学基金

第9期事業収支計算書

(2011年1月1日～12月31日)

(単位:円)

科目	決算額
I. 収入の部	
1. 入会金・会費収入	
正会員入会金収入	5,000
正会員会費収入	140,000
2. 寄付金収入	
寄付収入	1,082,975
3. その他収入	
利息収入	327
当期収入合計(A)	1,228,302
前期繰越収支差額	1,123,537
収入合計 (B)	2,351,839
II. 支出の部	
1. 事業費	
1. 広報活動事業	20,000
2. 学用品支援事業	170,000
3. 奨学資金支援事業	270,000
4. 識字率向上支援事業	150,000
5. 書籍購入支援事業	23,600
6. 図書館設立支援事業	100,000
7. 学校運営支援事業	266,400
8. 資料の及び刊行事業	0
2. 管理費	
通信費	16,830
印刷費	0
消耗品費	1,186
雑費	2,000
振替手数料	6,520
交通費	0
3. 予備費	0
当期支出合計(C)	1,026,536
当期収支差額(B)-(C)	1,325,303
次期繰越収支差額	1,325,303